

発行
千葉県海匝農業事務所
改良普及課

千葉県旭市ニの1997-1
電話 0479-62-0334
FAX 0479-62-4482

かいそう普及だより

<https://www.pref.chiba.lg.jp/ap-kaisou/>



講義の様子



高濃度炭酸ガス処理の実演



簡易式の高設栽培システムの展示

海匝管内は、農協のいちご部会をはじめ、直売や観光いちご園も数多くあり、古くからいちご栽培が盛んです。しかし、近年は生産者の高齢化と担い手不足により生産戸数と栽培面積は減少傾向にあります。

そこで、農業事務所ではいちごの生産力強化を目的に、将来の担い手である若手いちご生産者を対象にしたスキルアップ研修を開催しています。

若手いちご生産者集まる スキルアップ研修の開催

本年度の研修は、農薬・種苗・資材メーカーの他、全千葉県農本部、県農林総合研究センターの担当者や講師に招いて、「品種特性」、「肥培管理」、「病害虫防除」、「産地情報」、「花芽検鏡」など栽培の基本となるテーマを中心にカリキュラムを組みました。昨年6月～本年2月にかけて4回行い、20～40代の生産者延べ30名が参加しました。

また、座学に加えて、高濃度炭酸ガスや簡易式の高設栽培の処理や導入方法といった実演も交えることで、出席者の興味と理解を深める内容となりました。その他、生産者間の情報交換の場も設け、出席者からは「コロナ禍で栽培講習の機会が少なくなつたので、今後の栽培の参考になった」との声が聞かれました。

研修は、次年度以降も、省力化機械や環境制御技術といったより高度な栽培方法の習得を目指して計画しています。農業事務所では今後も関係機関と連携し、産地の発展を支援していきます。

指導農業士・農業士紹介

令和5年1月12日に海匝地域の指導農業士4名、農業士4名が千葉県知事より認証されましたので御紹介します。

指導農業士には担い手育成、農業士には地域農業牽引の役割が期待されています。

【指導農業士の方】



石川政宏さん
(銚子市)
露地野菜

キャベツを経営の柱とし、計画的な土壌消毒と合理的な肥培管理などにより、経営の安定と低コスト化を実現させ、高い経営水準を示しています。



木村禮子さん
(銚子市)
施設野菜+露地

だいこんを主に多彩な品目を組み合わせて周年で収入を確保できる作付け体系を工夫しています。6次化など多様な経営による稼げる農業を目指しています。



大野 栄さん
(旭市)
施設野菜+水稲

ミニトマト主体の経営で、炭酸ガス施用機やモニタリング装置による環境制御技術を早期から実践し、地域標準以上の生産量を上げています。



近藤慶裕さん
(旭市)
施設野菜

大玉トマトを主な経営の柱とし、環境制御装置を導入して、堅実な家族経営を展開し、「お客様を第一に」を经营理念に、高品質と良食味を追求しています。



嶋田優介さん
(銚子市)
露地野菜

だいこん・キャベツを主軸に、すいか・メロン等の複数品目を生産しています。JA青年部では委員長を務め、地域の中心的な若手生産者として活躍しています。

【農業士の方】



宮内紀光さん
(銚子市)
露地野菜

だいこんを主力品目として、堆肥や緑肥を活用し減農薬・減化学肥料で栽培しています。JA青年部や地元の青年団に所属し、地域農業の活性化に貢献しています。



多田大樹さん
(旭市)
施設野菜+水稲

きゅうり等の施設野菜を生産しています。技術向上に努め、地域平均以上の単収を得ています。出荷部会では支部長を務め、野菜産地振興に向け活躍しています。



米本 徹さん
(旭市)
施設野菜+水稲

きゅうり等の施設野菜を生産しています。環境制御技術を導入し、地域平均を上回る単収を達成しています。新技術導入等による産地振興に貢献しています。

指導農業士・ 農業士の活動について

指導農業士の活動

地区内の指導農業士が属する海匝地区指導農業士会(正会員56名)では、地区内の指導農業士が相互に連携して、農業後継者の育成活動を行っています。

主な活動としては会としての研修・交流を実施している他、農業経営体育成セミナー(開講式・プロジェクト発表会・閉講式など)、県立農業大学校派遣実習、県立旭農業高校視察研修、食育(3市の園児・生徒が対象)などに協力しています。

農業士の活動

地区の農業士が属する海匝農業士協会(正会員57名)では、会員が相互に協力し個々の経営・技術の向上を図り、さらには地域社会の発展に寄与することを目的として活動しています。

主な活動として、農業技術や経営に関する講習会や視察研修会、県内外の農業士等との交流会の実施や、農業経営体育成セミナー(開講式、プロジェクト発表会、交流会、閉講式)へ協力しています。

収量UPを目指して 栽培技術を見直す

きゅうり栽培では、二酸化炭素の施用をはじめとした環境制御を用いた栽培技術に取り組む生産者が増えています。しかし、環境制御で効果を上げるには二酸化炭素だけでなく、かん水・気温・湿度など日射を最大限利用する栽培管理に必要な様々な知識を習得しなければなりません。

そこで、生産者4名が環境制御を用いた栽培知識を得るためにグループを結成し、県の事業を活用して民間業者の栽培コンサルタントから指導を受け、お互いのハウスを訪問しながら、ハウス環境、植物体の管理の改善に取り組んでいます。生産者からは「これまでの自分の常識と全く違うことを言われるので驚いた」などの声が聞かれました。2年目の今年は、仕立て方の試験を行うなど積極的な取り組みが見られます。

皆さまも収量UPや他の人の技術を知るためにグループによる勉強会を行ってみませんか。
(問い合わせ先 改良普及課旭グループ)



きゅうりの生育を確認する生産者

次世代の銚子農業を担う 農業女子のネットワークを!

銚子市、JAちばみどり、農業事務所は銚子市在住の概ね40歳までの農業女子11名を対象に「農業女子スキルアップセミナーin銚子」を開催しています。

本セミナーは、銚子農業のさらなる振興を図るため、重要な担い手である農業女子の経営参画促進とネットワークづくりを目的としています。

「W A I I W A I トーク (情報交換や話合いの場) で同世代の悩みを共有できよかったです」



グループトークでの意見を参加者で共有

など参加者からの感想もありました。

その他、新たな農業へのチャレンジ事例の視察や紫外線対策に関する美白女子講習、自らの夢や目標を実現するためのプランづくりを行ってきました。今後も農業経営のパートナーとして必要な知識・技術や仲間づくりなど楽しく学べるカリキュラムを予定しています。(問い合わせ先 改良普及課銚子グループ)

ちば花と緑の会の活動

県内の切り花、鉢花、植木、観葉生産者によって組織されている、ちば花と緑の会の展示商談会「花と緑の生産者紹介2022 inちば」が令和4年9月7日に匝瑳市にて開催されました。

ちば花と緑の会の展示商談会は新型コロナウィルスの流行により2年ほど開催できなかったため、今回は3年ぶりの開催になりました。展示商談会には、ちば花と緑の会の会員のうち鉢花、植木、観葉生産者19名が出展し、また、会員以外には県外の生産者を含む9名の生産者が出展しました。当日は、花・植木に関わる市場、卸、小売り、流通関係者など幅広い業種の来場者が訪れ、延べ人数は170名ほどとなり、盛況でした。翌日には、生産者の農場に来場者を招く、農場公開が実施され、来場者からは久しぶりの対面での商談会を喜ぶ声が聞こえ、多くの商談が行われました。



展示商談会の会場

収入保険で 農業経営リスクへの備えを

自然災害や経営環境の悪化など、さまざまなリスクによる収入の減少を補償する「収入保険」に加入しましょう。

原則すべての農産物を対象に、農業者の経営努力では避けられないさまざまなリスクによる収入減少を補償します。

補償対象

自然災害、市場価格の低下、災害で作付け不能、けがや病気で収穫不能、取引先の倒産、倉庫の浸水被害、盗難、運搬中の事故、為替変動等加入できる方

青色申告を行っている農業の方 (加入申請時に申告実績が一年以上ある方) です。

加入申し込み時期

個人 10月～12月

法人 事業年度開始の前月末まで

千葉県では収入保険に新規加入する方を対象に期間限定で保険料補助制度を実施しています。

お問い合わせ先

千葉県農業共済組合海匝支所
TEL 0479 (55) 2083
(同右) 匝瑳センター
TEL 0479 (72) 1255

農業について 学びませんか!

農業事務所では、担い手育成のため、次世代の農業を担う就農直後の青年農業者等を対象に、「農業経営体育成セミナー」を開催しています。

セミナーは、3年間のカリキュラムを通じてステップアップしていきます。



2年ぶりに集合で開講式を開催

1年目「基本研修」

土壌や肥料、病虫害防除、農薬の使い方などの農業の基本的な知識・技術の習得を目指します。また、



互いの経営を訪問

3年合同で、農業機械の基本を学ぶ講義や市場等の視察、先輩農業者との交流を実施しています。近年は、台風被害が発生していることから、災害対策の講義・実習もカリキュラムに組み込んでいます。

2年目「専門研修」

外部講師の講義等を通じて、基本研修で習得した知識・技術について、より専門的な理解を目指します。そして、農業への意欲と理解を高めます。

3年目「総合研修」

経営分析や経営計画の作成、優良事例の視察を通じて、経営管理能力を高め、経営者としての資質向上を目指します。

プロジェクト学習

専門研修では技術、総合研修では経営について、計画を立てて課題に取り組みます。

今年度は、35名がセミナーに参加し、「あいまいだったことをきちんと理解することができて良かった」「農業機械の安全な取り扱いを知ることができ、実際の作業に活かしたい」「先輩農業者の話から経営のヒントを得た」などの声が聞かれています。



農業機械の扱い方を学ぶ

最近では、管外からの新規就農者や農業以外の仕事をしてきた方の就農も増えています。新たに農業を始めた方は、ぜひ農業経営体育成セミナーに参加して、農業に関する知識の習得や地域の仲間づくりをしませんか。